

あそびのししぴ



新しい仲間づくりへ

向こうの正面であれ

二つのグループに分かれて遊んでいます、勝ったグループは楽しめても、負けたグループは何となくつまらなく感じています。がしばしばあ

も、将棋の駒のように、負けてしまいます。そこで、今回はちょっとユニークな遊びを紹介します。二つのグループに分かれて遊ぶのの一つです。

ると相手チームの一員として再びチャレンジができる遊びです。自分のチームに固執せず、みんなで楽しく遊びましょう。まだ名前も十分に知らない人同士が仲間を増やしたいときなどに、持ってこいの遊びの一つです。

【人数】 10人—20人

【場所】 全員が座れる程度の広さ

【道具】 シーツや毛布など、スクリーンとなるもの1枚といす2脚

【遊び方】

①グループを二つに分けて向かい合って座る。中央部にいすを向かい合わせに置く。

②向かい合っている中央ライン上にシーツなどお互いが見えないよう、各リーダーがスクリーンを張る。各グループから1人を選び、いすに座る。

③代表2人がいすに座ったら「せーの」の合図でリーダーがシーツを下げる。

④シーツが落ちると、座っている代表者らが同時に相手の名前を呼ぶ。

⑤正しく（早く）名前を呼んだ人が勝ち、負けた人は勝ったチームの新戦力となる。シーツ越しでのぞいたり、代表者にほかの人が教えた場合は失格。

⑥代表者は次々に交代。どちらかのグループで人がいなくなったら終わり。親しい友人同士の場合、代表者が背中合わせに座り、メンバーが相手側の代表者のヒントを与え、誰かを当てるやり方もある。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363